

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 釧路愛育協会

法 人 本 部

総 括

令和6年度では、法人中期計画（令和4年度～令和8年度）に基づき、法人重点項目と各施設・事業所の事業計画を推し進めたことで、一定の成果を収めることができた。

(1) 法人施設整備計画の実施では、念願であった「あいこう認定こども園老朽改築」の完成に向けた整備計画は、国、北海道ならびに釧路市の多大なる支援と関係機関、地域の方々の理解と協力のもと、令和5年7月着工後順調に進捗し設計・工事監理ならびに特定共同企業体の尽力により令和6年9月2日に竣工した。建物引渡しを受けた後の9月4日関係者や地域への感謝の意を表し落成記念式典と内覧会を挙行し、9月7日に一般を対象とした内覧会では300人を超える見学者が来園し、地域の注目と期待を受けながら9月17日子どもたちの笑顔と歓声のなか新園舎での保育・教育がスタートすることができた。

(2) 施設・事業所の安定した運営実施では、ワムネット（独立行政法人福祉医療機構）の法人および主たる事業別の経営分析を参考としながら経営状況の確認を行った。

移転後の長生園ならびに武佐の里の運営については、建築後3年目となり着実に地域に密着した拠点としての役割を担う運営を継続した。また、次年度からはじまる建設費の元金償還に向けた準備を進めてきた。

障害福祉サービス事業運営の再評価とビジョンの構築では、6年度の報酬改定に国連障害者権利委員会の勧告（令和4年）の影響を受け、障がい者支援施設やグループホーム、就労支援の運営基準の見直し等、利用者さんの意思決定支援に向けた国の方向性が示されたため、意思決定支援の取り組みや地域連携推進会議など障害福祉サービスの在り方等について見極める準備を進めた。

(3) 感染症防止対策や非常災害を想定したBCP（事業継続計画）の確立では、感染症対策および非常災害（自然災害等）対策を網羅したBCPについて、法人専門研修において各施設・事業所の実践の情報集約と地域の実情に応じた体制整備を確認し、さらなる充実を図ることができた。

(4) 法人人材確保・育成・定着支援システムの継続および外国人材受入に向けた取り組みでは、人材確保として武佐の里に特定技能外国人材（2期生）の雇用枠を拡大することができた。人材育成・キャリアアップの観点からは、各種福祉資格取得の職員助成事業を継続実施することで専門職の育成が進んでいる。また、国が提案した処遇改善加算の弾力的な運用を活用し全職種の待遇改善向上について進めることができた。

(5) 法人人材育成等研修システムの実施においては、「幹部職員・新任職員・職員・専門職員」の4本柱の研修を継続し、法人の思い（理念）や方針の共有や子どもたち、利用者さんに対する虐待、権利侵害、不適切な介護・支援・保育の根絶を目標にした意思決定支援の定着、支援技術向上を目的とした研修を開催し、施設・事業所ならびに職員間の交流を基軸とした育成研修システムの充実を図った。

今後の業務遂行において、法人職員として共有すべき価値観に基づく行動基準を作成し、

価値観を共有し行動の基準を明らかにすることで、目標に向かって常に前進できる組織を目指していくため、「釧路愛育協会職員行動基準（価値観の共有）」の策定を提案する。

(6) 地域公益活動の促進では、北海道社会福祉協議会と北海道地域公益活動推進協議会との協働により、当法人が釧路・根室管内の拠点法人として災害時職員派遣等の支援活動を主導した。

また、各施設・事業所において取り組んでいる地域公益活動ならびに地域貢献活動の促進と充実を実践することができた。

社会福祉法人を取り巻く社会情勢では、依然として続く物価高騰、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少による人材確保難、家庭環境の変化等、厳しい状況が続いているが、今後も、介護・障がい・児童の各領域におけるニーズの実情を見極めながら、関係機関との連携のもと新しい事業展開や環境整備を推し進めるとともに、福祉現場におけるテクノロジーの活用等に取り組むことで業務の効率化と負担軽減、質の向上をはかり、法人全体で福祉制度や政策の変動に迅速に対応できる準備と柔軟な対応ができる体制づくりを進める。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 定時評議員会 第1回 2024年6月13日(木) 令和5年度事業報告、決算の認定、その他の案件 第2回 2024年10月24日(木) 令和6年度補正予算およびその他の案件 第3回 2025年3月21日(金) 令和7年度事業計画および予算ならびにその他の案件	(1) 評議員会 第1回 令和6年6月13日(木) 参加者 6名 報告事項1 法人監査結果に関する件 報告事項2 あいこう認定こども園改築計画進捗に関する件 議案第1号 諸規程の一部改正について 議案第2号 令和6年度補正予算(第1次)の認定について 議案第3号 令和5年度事業報告について 議案第4号 令和5年度決算の認定について 報告事項3 令和5年度決算監査報告 報告事項4 人事案件 第2回 令和6年8月30日(金) 参加者 5名 報告事項1 法人監査結果に関する件 報告事項2 あいこう認定こども園改築計画進捗に関する件 議案第1号 定款変更認可申請について 議案第2号 諸規程の一部改正について

	議案第 3 号 令和 6 年度補正予算（第 2 次）の認定について 第 3 回 令和 6 年 10 月 24 日（木） 参加者 6 名 報告事項 1 あいこう認定こども園改築計画進捗に関する件 議案第 1 号 諸規程の一部改正について 議案第 2 号 令和 6 年度補正予算（第 3 次）の認定について 第 4 回 令和 7 年 3 月 21 日（金） 参加者 5 名 報告事項 1 法人監査に関する件 議案第 1 号 諸規程の一部改正について 議案第 2 号 令和 6 年度補正予算（第 4 次）の認定について 議案第 3 号 令和 7 年度 事業計画ならびに予算の認定について
2）定時理事会 第 1 回 2024 年 5 月 29 日（水） 令和 5 年度事業報告、決算の認定、その他の案件 第 2 回 2024 年 10 月 16 日（水） 令和 6 年度補正予算およびその他の案件 第 3 回 2025 年 3 月 12 日（水） 令和 7 年度事業計画および予算ならびにその他の案件	（1）理事会 第 1 回 令和 6 年 5 月 29 日（水） 参加者 7 名 報告事項 1 法人監査結果に関する件 報告事項 2 あいこう認定こども園改築計画進捗に関する件 議案第 1 号 諸規程の一部改正について 議案第 2 号 令和 6 年度補正予算（第 1 次）の認定について 議案第 3 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 4 号 令和 5 年度決算の認定について 報告事項 3 令和 5 年度決算監査報告 議案第 5 号 人事案件 第 2 回 令和 6 年 8 月 21 日（水） 参加者 6 名 報告事項 1 法人監査結果に関する件 報告事項 2 あいこう認定こども園改築計画進捗に関する件

	議案第1号 定款変更認可申請について 議案第2号 諸規程の一部改正について 議案第3号 令和6年度補正予算(第2次)の認定について 第3回 令和6年10月16日(水) 参加者7名 報告事項1 あいこう認定こども園改築計画進捗に関する件 議案第1号 諸規程の一部改正について 議案第2号 令和6年度補正予算(第3次)の認定について 第4回 令和7年3月12日(水) 参加者7名 報告事項1 法人監査に関する件 議案第1号 諸規程の一部改正について 議案第2号 令和6年度補正予算(第4次)の認定について 議案第3号 令和7年度 事業計画ならびに予算の認定について
3) 評議員選任・解任委員会 随時	開催なし
4) 定例監査	(1) 監 査
第1回 2024年5月20日(月) 令和5年度決算および運営の執行状況	第1回 令和6年5月20日 出席者 2名 令和5年度決算および運営の監査
第2回 2024年7月22日(月) 令和6年度第1四半期会計および運営の執行状況	第2回 令和6年7月22日 出席者 2名 令和6年度 第1・四半期 法人および施設の運営状況監査
第3回 2024年10月21日(月) 令和6年度第2四半期会計および運営の執行状況	第3回 令和6年10月21日 出席者 2名 令和6年度 第2・四半期 法人および施設の運営状況監査
第4回 2025年1月20日(月) 令和6年度第3四半期会計および運営の執行状況	第4回 令和7年1月20日 出席者 2名 令和6年度 第3・四半期 法人および施設の運営状況監査
第5回 2025年3月24日(月) 令和6年度第4四半期会計および運営の執行状況	第5回 令和7年3月24日 出席者 2名 令和6年度 第4・四半期 法人および施設の運営状況監査

5) 総務委員会 第1回 2024年5月13日(月) 第2回 2024年9月30日(月) 第3回 2025年2月28日(金)	(1) 総務委員会 第1回 令和6年5月13日(月) 第2回 令和6年8月8日(木) 第3回 令和6年9月30日(月) 第4回 令和7年2月28日(金)
6) 永年勤続職員表彰	(1) 永年勤続職員の表彰 実 施 令和6年12月13日 勤続年数 10年3名
7) 役員研修会	(1) 役員研修会 ①令和6年度全国知的障害関係施設長等会議 (公益在団法人日本知的障害者福祉協会主催) 日 時 令和6年8月5日～19日 会 場 オンライン研修(オンデマンド配信) 参 加 理事1名 ②令和6年度 北海道老人福祉施設協議会 老人福祉施設長研究セミナー 日 時 令和7年1月24日 会 場 北海道第二水産ビル 参 加 理事1名
8) 法人研修会	(1) 法人研修会 第1回 新任職員研修会 令和6年6月25日(火) 「釧路愛育協会の軌跡・法人職員としての心構え」 参加者 17名 第2回 幹部職員研修会 令和6年7月23日(火) 「処遇改善について理解を深める ～職員のモチベーションにつなげる」 参加者 25名 第3回 専門研修会 令和6年11月5日(火) 「災害はいつおこるかわからない ～災害にそなえた施設の取り組み」 参加者 21名 第4回 職員研修会 令和6年12月3日(火) 「虐待防止・権利擁護 ～法人の取り組みの理解を深める～」 参加者 33名

釧路愛育協会 総合相談室

令和6年度における事業運営は、福祉サービス利用援助事業を中心とした事業展開となった。法人経営会議で次年度以降に向け、進めていく相談援助の各事業がしめされたことで、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉の各分野において総合相談室が展開できる事業を進めていく計画につなげることができた。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 障がい分野の相談窓口として、障がい相談支援事業を立ち上げる	(1) 今年度立ち上げは叶わなかったが、法人の方針が正式に打ち出されたため、次年度は事業所開設の準備を進めたい。
2) 福祉サービスの利用援助、日常の金銭管理等、地域支援の実施	(1) 自立生活支援専門員と生活支援員による、地域支援の実践ができた。

長 生 園

令和6年度における事業運営は、令和5年度に行った経営改善を引き続き実践していく年度であった。措置事業においては、平均入所人員の安定を図ることができ、措置費各種加算の算定も目標通り進めることができた。しかし、介護保険サービスに関しては、訪問介護の介護報酬減額とサービス利用者の減員などが影響し、目標値を達成することができなかった。次年度からは、介護保険サービスの適正化を図っていきたい。

今年度も、養護老人ホームの役割のひとつである「ラストセーフティーネット」の実践では、困難なケースにも対応することができる職員育成により、他の施設では受け止められなかったケースも長生園で受け止めることができたと考えている。

また、ICT（情報通信技術）の活用では、ケアカルテ（介護記録ソフト）での利用者さんの記録の充実を図ることができた。今後は、さらに記録入力効率化を図り、職員の負担軽減につなげていきたい。

8月には盂蘭盆供養盆踊り、9月には施設のメインイベントである長生園祭を開催し、利用者さん、ご家族、地域住民やボランティアとともに盛大に祝うことができた。この武佐の地で、地域に根付いた行事になれるよう今後も取り組んでいきたい。

そういった状況の中、令和6年度事業計画重点項目の(1)に掲げた「生きがいをもち、楽しく生活することができるよう支援していく」にあつては、利用者さんが自主的

に役割りを見つけ取り組んでくれた。

(2) の重点項目である「利用者さんのペースに合わせ、孤立感や不安感を感じさせない介護をしていく」にあつては、毎日集まつの運動の時間を設け孤立感の解消に努めた。

(3) の重点項目である「利用者さんの価値観や、人生観を尊重し、一人ひとりに応じた生活ができるよう努めていく」にあつては、地域との連携により、自分に合った地域での活動を選択できるようになった。

(4) の重点項目である「地域福祉活動における社会資源のひとつとして、さまざまな関係機関に参画し活動していけるようにしていく」にあつては、ボランティアの依頼が増えてきたので窓口の機能を確立していきたい。

(5) 「病気の早期発見と健康管理、感染予防に努めていく」にあつては ICT 機器を活用し、利用者さんの状態を情報共有することで、健康管理に役立てることができた。

(6) 「利用者さんが栄養や健康に興味を持てるように努め、食事を通して暮らしを支えていく」にあつては、多職種と連携し個人の身体状況や食事摂取状況を把握することで、個人ごとの適切な食事提供につなげることができた。

(7) 「自然災害や感染症流行に備え、BCP の見直しの検討を継続して進めていく」にあつては、災害対策委員会、感染症対策委員会において BCP の確認、見直しを実施することができた。

本年度は、令和 6 年度報酬改定や介護保険事業の制度改正で盛り込まれた「生産性向上の取り組み」としてサービス生産性向上委員会の設立、業務の見える化の実施、課題抽出、業務改善の実施など新たな取り組みをチームで進めることができた。次年度は、今年度進めてきた業務改善の評価を実施し、成果を見える化していきたい。

これからも、新たな取り組みとこれまで実践してきた経験値をうまく掛け合わせ、利用者さんの充実した生活の実現と職員がワクワクする職場づくりをチームで推し進めて、養護老人ホームの新たなモデルケースになれるよう努めていきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 生きがいを持ち、楽しく生活することができるよう支援していく	(1) 利用者さんが自主的に役割りを見つけ取り組む姿がみられていた。今後も働きかけていきたい。 (2) 転倒・認知症予防のため余暇活動を充実させたが、参加する利用者さんが決まってきた。声掛けや内容の工夫をとおして、より多くの方が参加できるように努めていきたい。

2) 利用者さんのペースに合わせ、孤立感や不安感を感じさせない介護をしていく	(1) 昼食前に下肢筋力、夕食前に嚥下機能の向上を目指した体操を毎日楽しみながら実施することができた。 (2) 利用者さんのニーズに応え毎月の行事にカラオケを加えたことにより、毎日の嚥下体操の成果を発揮してもらえることができた。また、季節を感じてもらえるお花見ドライブやご自分で選択してもらうスイーツバイキングでは、笑顔あふれる素敵な時間を過ごしていただける活動となったので今後も計画していきたい。
3) 利用者さんの価値観や、人生観を尊重し、一人ひとりに応じた生活ができるよう努めていく	(1) 本人の生活にかかわるため、引き続きケアプランの充実を目指していきたい。 (2) 実習生のかかわりによって、新たな視点が増えるなど、アセスメントによってケアプランの充実が図れることを再確認できた。 (3) 地域と連携をはかっていくことで、日中活動を行う場の選択肢が増えている。個々に合った支援を目指すためにも、今後も継続していきたい。
4) 地域福祉活動における社会資源のひとつとして、さまざまな関係機関に参画し活動していけるようにしていく	(1) 徐々にボランティアの依頼が増えてきているため、今後は体制の構築と窓口を設置していけるようにしたい。また、地域連携推進室が新たに創設されたため、こちらも併せて有効に活用できるようにしていきたい。 (2) 日中活動というところで、地域との連携により、双方にとって良い交流の場が創設されたので、引き続き交流を深めていきたい。 (3) 交流の場が増えてきているため、養護老人ホームの役割を引き続き周知していきたい。
5) 病気の早期発見と健康管理、感染予防に努めていく	(1) 利用者さんの情報をケアカルテ（介護記録ソフト）や LINEWORKS（チャットアプリケーション）を使うことで、多職種間での共有がより円滑に行うことができた。 (2) 感染症対策は行っていたが、コロナウイルスの蔓延を食い止めることができなかった。 (3) 必要に応じた救急の対応は実施することができていた。

6) 利用者さんが栄養や健康に興味を持てるように努め、食事を通して暮らしを支えていく	(1) 担当者会議などで多職種から利用者さん個人の身体状況の情報を取得することができた。 (2) 年4回の栄養教室に加え、年5回の栄養にまつわるポスターを作成・掲示することで季節に沿った栄養の情報を定期的に提供することができた。 (3) 10月より給食委託会社の企画である「シン・食事サービス」が始まり、時間栄養学を取り入れた食事に変更したことで健康面での変化も一部見られた。 また、嚥下機能に合わせた食事形態に対応することができ、食物の物性（食物の物理的な性質のこと）も安定した食事提供が可能となった。	
7) 自然災害や感染症流行に備え、BCPの見直しの検討を継続して進めていく	(1) 自然災害・感染症に対するBCPは各委員会で見直し、実行できた。 (2) 自然災害に対する現状の課題を再確認し、施設の弱みが発見できたため、今後検討すべき課題が明らかになった。	
8) クラブ活動	活動・実施年月日・回数など	参加人数 (名)
	(1) いきいきサークル 11回	152
	(2) 楽々工房 10回	66
	(3) 健康クラブ 45回	723
	(4) ゲートボール同好会 11回	77
	(5) 麻雀クラブ 55回	220
	(6) カラオケクラブ 125回	880
	(7) 手話クラブ 45回	45
9) 健康教室	(1) 令和6年6月19日 (2) 令和6年8月7日 (3) 令和6年10月30日 (4) 令和7年3月30日	68 72 75 66
10) 栄養教室	(1) 令和6年5月 (2) 令和6年9月 (3) 令和6年12月 (4) 令和7年3月	96 99 100 100
11) 機能訓練	(1) 体操 毎日 (2) ハッピーレク 10回	138

12) 余暇活動	(1) ミュージックタイムの日 11 回 (2) カラオケの日 11 回			293
13) 自己評価	(1) 福祉サービス第三者評価 高齢者福祉サービス版自己評価シートに基づき実施			
14) 職員研修 (外部研修)	月	日	研修名	参加人数 (名)
	7	29	北海道社会福祉法人経営者協議 会実践研修	1
	9	11 ～ 12	北海道老施協 令和 6 年度全道老人福祉施設研 究大会	1
	10	4	令和 6 年度道東三地区老施協研 修会	2
	10	25	釧根地区老人福祉施設協議会 総合研修	6
	11	12	令和 6 年度社会福祉法人・施設災 害時連絡会議	4
	1	24	令和 6 年度 北海道老施協施設長セミナー	2
	2	26	栄養管理研修会	1
15) 職員研修 (施設内研修)	月	日	研修名	参加人数 (名)
研修テーマ 『助け合える施設づく りを目指して』	6	11	苦情・クレーム対応の基本 苦情処理委員会	13
	7	9	虐待と身体拘束 虐待防止・身体拘束廃止委員会	14
	7	30	BCP の理解と長生園避難訓練 災害防犯対策委員会	13
	8	6	防犯対策マニュアルとフローチ ャートの確認 災害防犯対策委員会	12
	8	29	事故対策研修会 事故対策委員会	16
	10	8	避難対応行動の理解と武佐の里	10

			避難訓練 災害対策委員会	
	10	30	BCP 研修・ガウンテクニック訓練 感染症対策委員会	12
	11	19	生産性向上の必要性 サービス生産性向上委員会	16
	12	12	コミュニケーション研修 研修委員会	10
	3	14	防災研修と検証避難訓練 災害防犯対策委員会	10
	3	25	BCP 研修・吐物処理訓練 感染症対策委員会	9
16) 救命救急講習	月	日	研修名	参加人数 (名)
	5	29	普通救命救急講習	1
	8	27	普通救命救急講習	4
	9	10	普通救命救急講習	4
	9	24	普通救命救急講習	4
	10	15	普通救命救急講習	4
	2	9	普通救命救急講習	1
17) 短期宿泊事業	在宅高齢者の短期宿泊 (1) 利用人員 延 4 名 延日数 145 日			
18) 健康診断・衛生管理	健康診断・衛生管理 (1) 健康診断 令和 6 年 4 月～令和 6 年 12 月 令和 6 年 7 月～令和 6 年 8 月 (2) 体重測定 令和 6 年 7 月、11 月、令和 7 年 3 月 (3) 赤痢菌等検査 月 1 回 (4) ノロウイルス検査 10 月～ 3 月			

2. 行事計画の実施状況

月	実 施 状 況 お よ び 参 加 人 数					
4	1) 懇談会	13, 20, 21, 24 日	111 名	2) 誕生会	17 日	116 名
	3) DVD 鑑賞	28 日	30 名			
5	1) 懇談会	18, 21, 23 日	103 名	2) 誕生会	15 日	113 名
	3) 節句会	5 日	65 名	4) DVD 鑑賞	26 日	32 名

	5) お花見ドライブ	10～14 日	19 名		
		13～17 日	22 名		
6	1) 懇談会	16, 25, 27, 29 日	110 名	2) 誕生会	19 日 113 名
	3) DVD 鑑賞	29 日	35 名	4) 買い物レク	17～21 日 19 名
7	1) 懇談会	21, 23, 27 日	105 名	2) かき氷会	2 日 16 名
	3) 誕生会	17 日	116 名	4) 外回り清掃	8 日 9 名
	5) DVD 鑑賞	27 日	50 名		
8	1) 懇談会	18, 21 日	105 名	2) 誕生会	14 日 115 名
	3) 物故者供養	20 日	11 名	4) 盆踊り	20 日 116 名
	5) DVD 鑑賞	24 日	34 名	6) かき氷会	4, 11 日 38 名
9	1) 懇談会	7, 26, 27 日	106 名	2) 誕生会	25 日 115 名
	3) 長生園祭	18 日	114 名	4) DVD 鑑賞	29 日 35 名
10	1) 懇談会	6, 26 日	108 名	2) 誕生会	16 日 114 名
	3) 開園記念日	2 日	114 名	4) 収穫祭	7 日 114 名
	5) スイーツバイキング	6, 13, 27 日	33 名		55 名
11	1) 懇談会	9, 25, 28 日	105 名	2) DVD 鑑賞	2 日 35 名
	3) 誕生会	20 日	112 名	3) DVD 鑑賞	30 日 30 名
12	1) 懇談会	8, 20, 24 日	102 名	2) 誕生会	18 日 114 名
	3) クリスマス会	25 日	70 名	4) お年取り	30 日 114 名
	5) DVD 鑑賞	28 日	45 名	6) 忘年会カラオケ	31 日 22 名
1	1) 新年恒例会	1 日	114 名	2) 新年会	1 日 54 名
	3) 誕生会	15 日	113 名	4) DVD 鑑賞	中止
2	1) 懇談会	9, 16, 25 日	106 名	2) 誕生会	19 日 112 名
	3) 節分	2 日	86 名	4) DVD 鑑賞	23 日 40 名
3	1) 懇談会	11, 12, 22 日	103 名	2) 誕生会	19 日 109 名
	3) 節句会	3 日	78 名	4) DVD 鑑賞	22 日 27 名
	5) お楽しみ会	24 日	55 名	6) クラブ発表会	31 日 45 名

3. 補助事業

1) 道補助事業

事業名：令和6年度緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業補助金

内 容：新型コロナウイルス感染症クラスター発生に係る経費

財 源：事業活動による収入（道補助金） 4,295,000 円

2) 市補助事業

事業名：釧路市高齢者施設物価高騰対策支援金

内 容：物価高騰対策

財 源：事業活動による収入（市補助金） 1,020,000 円

4. その他

1) 交 流 会	(1) かしわ・あいこう認定こども園交流会 (2) 鶴が丘学園交流会
2) ボランティア	(1) 第一興商運動ボランティア4回 (2) メガネプリンス3回 (3) 合唱ボランティア(個人) (4) 日本舞踊(個人)
3) 寄 贈	23件 評価額 506,500 円 物品名 紙おむつ、カット布、汚れ落とし、タオル、パット他

5. 地域活動

1) 民生委員	武佐茶話会(4回)	2) 武佐小学校	職業体験(2回)
3) 老人クラブ	紅葉ツアー、交流会	4) 消防団	訓練、啓発活動等

令和6年度 入 退 園 状 況 (名)

定員 120

月	入園数	退園数	死亡数	当月末人数
4	2	0	0	120
5	1	1	1	119
6	0	0	0	119
7	1	1	0	119
8	4	0	0	123
9	0	0	1	122
10	0	1	2	119
11	2	0	2	119
12	3	0	0	122
1	1	3	2	118
2	1	0	1	118
3	1	0	3	116
合計	17	6	12	

長生園訪問介護事業所

長生園特定施設における訪問介護サービスの提供は、利用者さんの心身の状況や特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、心がけながら実践するよう努めた。

なかでも重点項目の（１）にかかげた「訪問介護員の意識や技術を成長させることを目的とした研修の参加・実施」については、ヘルパー研修を実施できなかったため、次年度は訪問介護員の資質向上を図っていききたい。

（２）の重点項目である「訪問介護サービスの質の向上」については、利用者さん一人ひとりのニーズに沿った介護サービス計画を把握し、安全かつ快適なサービスを提供できるよう努めた。

１．業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
１）利用者さんの状態を把握して、訪問介護員の連携を図り実践する	（１）業務に入る前にケアカルテで申し送りされた情報をヘルパーへ共有し、利用者さんへ円滑なサービスを提供できるよう努めた。
２）良い支援が可能となるよう、日々の学ぶ姿勢を習得する	（１）定期的に高齢者虐待や不適切ケア、ヘルパーとしての心構えについてのヘルパー研修を実施した。

武 佐 い こ い

「利用者個人が有する能力と可能性を尊重し、利用者個々へ寄り添い、生活機能低下防止を重点に置いたサービスの提供」を念頭に置き、住み慣れた地域で生活が継続して行えるよう、必要時には利用者及びご家族様と密に連絡をとるとともに、介護支援専門員や関係機関とも連携を図り、利用者の身体面、精神面から援助に努めた。

感染症等の予防や対応を継続しながらの運営ではあるが、ボランティアの受け入れや地域カフェの再開も出来、地域の方々との交流も出来る様になってきている。今後も、感染対策と共に自然災害への確認もしながら、事業の継続に努める事としている。

実績状況としては、１日平均利用人数 11.7 人、稼働率 78.2% となり前年度より減少している。コロナウイルスの影響や感染後の体調不良がおもな要因となっているほか、在宅利用者の新規問い合わせの低下もみられ、営業活動やサービス内容の見直しを行い、利用者が必要とするサービスの構築も必要と思われる。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者の個々のニーズに沿った（介護予防）通所介護計画の実施	(1) 居宅介護支援員と連携し、その人らしい、その人が望んでいる生活に少しでも近づけるよう通所介護計画の作成に努めた。
2) 小規模事業所ならではの特色を生かし、個々の利用者に寄り添う生活機能の維持向上に重点をおいたサービスの提供	(1) 利用者個々に寄り添い、ニーズを基に個々に日常生活内で、役割・自信・意欲・楽しみの回復を図り、利用者の QOL の向上に繋げるサービス提供に努めた。
3) 専門職としての資質向上を目的とした職員研修の定期実施および積極的な外部研修への参加	(1) 利用者及び家族様とのよりよい関係づくりと安心安全なサービス提供に繋がる為に、法人研修などへの積極的に参加し専門職としての資質向上に努め、チームケアの向上に努める。
4) 地域とのより密接な関係づくりを目的とした地域公益事業の充実化	(1) デイサービスフロアー地域一般開放に続き地域カフェ「いこい会館」も再開した。今後は地域の方々への宣伝に力を入れ、交流の場作りに努める。

2. 行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数		
4	1) 春の運動会	16 日	15 名
5	1) お花見ドライブ	13～17 日	25 名
6	1) 園芸レク（プランター作成）	5 日	24 名
7	1) 夏祭り	18 日	11 名
8	1) 秋のドライブ週間	20～22 日	28 名
9	1) 秋の運動会	11 日	12 名
10	1) 開所記念を祝う会 2) 自主避難訓練 3) 令和 6 年度第 1 回運営推進開催	1 日 22 日 6 日	11 名 13 名 5 名
11	1) 紅葉ドライブ	6, 8 日	15 名
12	1) クリスマス会 2) 忘年会	25 日 30 日	11 名 15 名
1	1) 新春カルタ大会	22, 24 日	18 名
2	1) 節 分	3 日	12 名

3	1) 節句会	3 日	12 名
	2) 令和 6 度第 2 回運営推進開催	28 日	4 名

3. 補助事業

1) 市補助事業

事業名：釧路市高齢者施設物価高騰対策支援金
内 容：物価高騰対策
財 源：事業活動による収入（市補助金） 67,500 円

4. 令和 6 年度月別利用延数、一日平均利用人員および稼働率

月別	利用延人数 (名)	一日平均 利用人員 (名)	稼働率
4	272	12.9	86.3%
5	265	12.6	84.1%
6	241	12.0	80.3%
7	270	12.2	81.8%
8	228	12.0	80.0%
9	236	12.4	82.9%
10	252	11.4	76.3%
11	239	11.9	79.6%
12	248	11.8	78.7%
1	189	9.9	66.3%
2	191	10.6	70.7%
3	216	10.8	72.2%
合計	2847	年 11.7 平均	78.2%

5. 令和 6 年度地域公益事業実績

1) デイサービスフロア地域一般開放

月	利 用 者	利用回数	延べ人数 (名)
4～3	利用実績なし	0	0

2) いこい会館

月	内 容	参加人数 (名)
1 1 月	音楽で楽しく健康体操 協力：東北海道第一興商様 10:00～12:00	包括支援センター職員 2 名 武佐いこい職員 6 名 地域住民 5 名

3月	ボッチャ体験会 武佐いこい主催 10:00～11:30	包括支援センター職員 1名 武佐いこい職員 3名 地域住民 3名
----	-----------------------------------	--

武 佐 の 里

令和6年度はスタートこそ職員も安定して稼働率も高いところから始まったが、年度途中に職員の退職が続き、一時新規入所をストップせざるを得ない状況になり、経営状況も低迷することとなった。

業務改善や他部署からの応援など、施設としてできること全職員一丸となり実施してきたが、変則勤務ができる介護職員の絶対数が足りず困難を極めた。

そこで、人材確保の方針を今年度も新たに迎えた特定技能2期生6人の積極的教育に方向を転換し、6人が自立して業務を担えるよう教育的機能を強化した。今年度1月には、ある程度のレベルまで到達し、2月からは新規入所者の受入れ再開、3月の稼働率では入居98%、ショートステイ81%にまで回復することができ、職員も人員的ゆとりから、利用者さんへのレクリエーションや機能訓練などの活動も活発化し、利用者さんへのサービス向上につながることができた。

新たに迎えた特定技能2期生について、職場での教育支援の他、生活支援（買い物等）にも力を入れ、日本という外国で暮らす上での負担軽減を図ることができた。

入所されている方々の生活がより充実したものになり、そこで働く職員が働きやすさとやりがいを感じられるよう、努めてきたが新しいチームということできざまなことが手探りとなり、円滑に進めることができなかった部分もあるので次年度では、更なるチームの醸成を図っていきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 入所前の在宅生活の継続を目的に個々の意思と自己決定を尊重した個別ケアに努める	(1) 利用者さん個々の意向に合わせた生活リズムでサービス提供することができた。 (2) 利用者さんのご家族との関係性づくりとともに、できるだけ多くの利用者さんの情報収集をご家族の協力により実現できた。
2) 日々の健康管理と疾病の重度化への予防とICT活用により利用者さんの身体状況の変化	(1) 多職種間でケアカルテやLINEWORKSを日々活用することで、利用者さんの情報を迅速に共有できた。 (2) 感染症発生時、ユニット職員と協力し、利用者への対応、対策を行えた。

の早期発見に努める	(3) 救急対応についての勉強会を実施できなかった。来年度は実施できるようにしたい。			
3) 特定技能外国人雇用の推進	(1) 6名の特定技能外国人材を迎え入れ、計画的な雇用を実践できた。 (2) 日勤や早出など、一部の勤務は自立できるところまで育成することができた。			
4) 自己評価	(1) 福祉サービス第三者評価 高齢者福祉サービス版 自己評価シートに基づき実施			
5) 職員研修 (外部研修)	月	日	研修名	参加 人数 (名)
	9	11 ～ 12	北海道老施協 令和6年度全道老人福祉施設研究大会	1
	10	25	釧根地区老人福祉施設協議会 総合研修	4
	2	14	栄養管理研修会	1
6) 職員研修 (施設内研修) 研修テーマ 『助け合える施設づくりを目指して』	月	日	研修名	参加 人数 (名)
	6	11	苦情・クレーム対応の基本 苦情処理委員会	9
	7	9	虐待と身体拘束 虐待防止・身体拘束廃止委員会	11
	7	30	BCPの理解と長生園避難訓練 災害防犯対策委員会	7
	8	6	防犯対策マニュアルとフローチャートの確認 災害防犯対策委員会	6
	10	8	避難対応行動の理解と武佐の里 避難訓練 災害対策委員会	8
	10	30	BCP研修・ガウンテクニック訓練 感染症対策委員会	15

	11	19	生産性向上の必要性 サービス生産性向上委員会	10
	12	12	コミュニケーション研修 研修委員会	7
	3	14	武佐の里研修と検証避難訓練 災害防犯対策委員会	16
	3	25	BCP 研修・吐物処理訓練 感染症対策委員会	9
	3	28	誤薬を防ぐためにできること 事故対策委員会	7
7) 救命救急講習	月	日	研修名	参加人数 (名)
	6	19	普通救命救急講習	1
	8	27	普通救命救急講習	1
	9	10	普通救命救急講習	1
8) 短期入所生活介護	短期入所生活介護 定員 2 名 (1) 利用人員 延 93 名 延日数 544 日			

2. 行事計画の実施状況

月	実 施 状 況 お よ び 参 加 人 数		
4			
5	1) 端午の節句	5 日	57 名
6			
7	1) 夏祭り	26 日	54 名
8			
9	1) 敬老祝賀会	16 日	32 名
		ご家族	15 名
10	1) 紅葉狩り	20 日	44 名
11			
12	1) クリスマス会	24, 25 日	48 名
1	1) 新年会	5 日	58 名
2	1) 節分	3 日	59 名
3	1) 桃の節句	3 日	59 名

3. 補助事業

1) 道補助事業

事業名：令和6年度緊急時介護人材確保・職場環境復旧等支援事業補助金
内 容：新型コロナウイルス感染症クラスター発生に係る経費
財 源：事業活動による収入（道補助金） 3,363,000 円

2) 市補助事業

事業名：釧路市高齢者施設物価高騰対策支援金
内 容：物価高騰対策
財 源：事業活動による収入（市補助金） 510,000 円

4. 地域活動

1) 民生委員 武佐茶話会（4回）

令和6年度 入 退 所 状 況 (名)

定員 58

月	入所数	退所数	死亡数	当月末人数
4	10	2	0	56
5	1	0	0	57
6	0	1	1	55
7	0	1	1	53
8	0	2	1	50
9	0	3	0	47
10	4	3	0	48
11	2	0	0	50
12	7	3	0	54
1	6	3	0	57
2	3	2	0	58
3	0	0	0	58
合計	33	20	3	

ひかり 自立支援センター

令和6年度も、新型コロナウイルス感染症があちこちで報告される中、生活介護あい工房では9月初旬利用者さんの溶連菌の感染、就労継続支援B型みのり工房では12月初旬に利用者さんのコロナ感染が確認され、通所を中止する日があったが、大事には至らず最小限の活動中止で終息することが出来、日々感染予防に努めた。その中で9月に「ひかりの里まつり」を開催し、利用者さんの歓声、笑顔があふれ、鶴野支援学校体験学習の受け入れ、釧路短期大学実習生の受け入れ等を積極的に行い利用者さんとの交流を図ることが出来た。

「あい工房」の第1工房では、職員の介助による手指消毒の感染症対策と換気、消毒を含めた衛生管理の徹底をしながら、それぞれの障がいに合わせて入浴、排せつ、食事などの基本的な生活習慣の支援、身体機能維持を目指して体に負担の少ない運動や散歩を実施し、第2工房ではかいわれ栽培、しいたけ作業などの生産活動を中心にそれぞれ工房内で行える季節の行事を中心に実施し、一人ひとりが生き活きと生活に張りを持てるように利用者さん個々に合わせた支援の充実を図った。

「みのり工房」では、畑やハウスを活用しての農作物生産、注文によるどら焼き、クッキーの菓子製造、弁当の販売などに重点をおき、コロナの感染を見ながらコア大空まつり、長生園祭、鶴が丘学園祭、ディサービスわたすげ、釧路市主催ファミリーコンサート等へ出店し、地域との交流を深めるとともに、収入の確保につなげることができた。また釧路市の委託事業である高齢者宅への配食サービスについては、利用者の減少、諸物価高騰および燃料費の高騰により収入は減少したが、長生園、武佐の里の清掃作業の維持により安定した収入を確保することができた。

今後はみのり工房の定員確保に努めるとともに、高齢化が進むなかであい工房の定員拡充など事業の見直しを進め、地域の中で核となる通所施設の役割を担い利用者さんが豊かな生活を実感し楽しい人生が送れるよう取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 生活介護「あい工房」では感染症対策に重点をおき衛生管理を徹底し、基本的な生活習慣の支援と合わせて、公共施設の利用や各種行事への参加および工房内で利用者さんが楽しく過ごせる余暇、創作活動の取り組みを含め総合的な支援の充実を図る	(1) コロナ感染は報告されているが、手指消毒および工房の衛生管理を徹底し、利用者さん個々の障がいに合わせた入浴、排せつ、食事などの基本的な生活習慣の支援を行った。 (2) ひかりの里まつり、クリスマス会、節分など娯楽、余暇、創作活動などの取り組みの充実を図り支援学校体験学習、短期大学実習生の受け入れを積極的に行い利用者さんとの交流を図ることができた。

2) 就労継続支援B型「みのり工房」では感染症対策と衛生管理を徹底し、施設外就労の清掃業務を継続するとともに、作業種の検討・見直しや高齢化する利用者さんの生活介護「あい工房」への移行も視野に入れ総合的な支援の充実を図る	(1) 感染症対策として手指消毒およびマスクの着用、衛生管理を徹底しながら、引き続き「長生園」「武佐の里」の清掃業務の充実を図った。 (2) 高齢化する利用者さんの生活介護への移行を行い、野菜・椎茸栽培を生活介護の生産活動に位置づけした。また釧路市から委託を受けている安否確認を含めた高齢者宅への配食サービスを継続して実施した。
3) 職員の資質向上のための研修体制の充実を図る	職員の資質向上のため、各種研修会へ参加した。 (1) 虐待・身体拘束研修 5月30日 6名 (2) スキルアップ研修 7月6日 1名 (3) 釧路愛育協会幹部職員研修(本部) 7月23日 4名 (4) 強度行動障害実践研修 8月21日～22日 1名 (3) 令和6年度災害対策研修(札幌) 10月11日 1名 (4) 虐待・身体拘束研修 10月30日 5名 (5) 釧路愛育協会専門職員研修(本部) 11月5日 2名 (6) 釧路愛育協会職員研修(本部) 12月3日 2名 (7) 釧路市防災研修 12月14日 1名
4) 敷地内や建物の安全、衛生、美観の向上を図る	室内外の清潔、衛生管理、除雪、駐車場の整備、廃棄物処理などによる美観の向上を図った。

2. 行事計画の実施状況

月	全 体	あ い 工 房	み の り 工 房
4	1) 保護者会 23日 7名	1) 市立病院販売 中止	1) 市立病院販売 中止 2) 長生園出店 実施
5	1) 前期健康診断 13日～17日 10名	1) 市立病院販売 中止	1) 金星ハイヤー出店 中止 2) 市立病院販売 中止 3) 長生園出店 実施
6	1) 保護者会 25日 6名	1) プール支援 中止	1) ふれあい広場 実施 2) 焼肉パーティー 中止 3) 市立病院販売 中止 4) 長生園出店 実施
7		1) 益浦夏祭り販売 中止 2) 市立病院販売 中止	1) 金星ハイヤー出店 中止 2) 中央病院出店 中止 3) 市立病院販売 中止 4) 長生園出店 実施

8	1) 保護者会 27日 7名 2) 第13回「ひかりの里まつり」12日 33名 ※かしわ認定こども園園児参加	1) 施設交流ボウリング大会 中止 2) 養護学校ひまわりの集い 中止 3) 市立病院販売 中止	1) 長生園盆踊り大会出店 中止 2) 市立病院販売 中止 3) 長生園出店 実施
9	1) 花火・焼肉 中止	1) 鶴が丘学園祭見学 中止	1) コア大空まつり 出店 2) 鶴が丘学園祭出店 実施 3) 興津小学校バザー出店 中止 4) 市立病院販売 中止 5) 長生園出店 実施
10	1) 保護者会 29日 5名	1) 施設交流シーツバレー大会 中止	1) スマイルワンダーランド出店 中止 2) わたすげ販売 出店
11	1) 後期健康診断 11日~15日 10名	1) 市立病院販売 中止	1) 中央病院販売 中止 2) 長生園出店 実施
12	1) 保護者会 17日 6名	1) クリスマス会 25日 15名	1) 釧路芸術館クリスマスコンサート 出店 2) クリスマス会 25日 16名 3) 長生園出店 実施
1		1) 初詣 中止	1) イオン出店 中止 2) 長生園出店 実施
2	1) 保護者会 28日 9名	1) 節分豆まき 2日 14名	1) 節分豆まき 2日 16名 2) 長生園出店 実施
3		1) ひまわりチャレンジ 中止	1) 慰労会 中止 2) 長生園出店 実施
備考	クリスマス会、節分豆まきは各工房で実施		

3.補助事業

1) 釧路市補助事業

事業名：	釧路市障がい者施設物価高騰対策支援金
内 容：	物価高騰対策
経 費：	事業活動による収入（釧路市補助金） 135,000 円

4. その他

1) 交 流	セイコーマート（クリスマス交流・ケーキ、プレゼント贈呈）		
2) 寄 贈	3 件	評価額	97,000 円
	物品名： プロジェクター・飲み物・ケーキ・インスタント食品 など		

令和 6 年度 月別利用延数、一日平均利用人員および稼働率

定員 15（名）

月	生活介護あい工房			就労継続支援 B 型みのり工房		
	利用延 人数 (名)	一日平均 利用人数 (名)	稼働率	利用延 人数 (名)	一日平均 利用人数 (名)	稼働率
4	343	11.4	71.4%	348	11.6	68.2%
5	354	11.4	71.3%	357	11.5	67.7%
6	319	10.6	70.8%	342	11.4	67.0%
7	334	10.7	71.8%	357	11.5	67.7%
8	309	9.9	68.6%	338	10.9	64.1%
9	225	7.2	51.4%	329	10.8	63.9%
10	312	10.0	64.8%	348	11.8	69.6%
11	286	9.5	68.0%	340	11.4	67.4%
12	272	8.7	62.6%	180	10.8	67.3%
1	292	9.7	64.8%	320	9.9	58.6%
2	273	9.4	67.1%	326	11.2	65.5%
3	298	9.6	68.6%	346	11.6	67.1%
合計	3617	年 10.2 平均	67.0%	4,090	年 11.1 平均	66.2%

ひかりの里（ホームひかり）

令和 6 年度はコロナウイルス、インフルエンザ等の感染が報告される中、日々感染予防に努めてまいりましたが、昨年 9 月に 9 名の利用者さんに咳、熱の症状が出て 3 名の方が溶連菌に感染したため、再度健康管理、感染対策の徹底をはかり再発防止に対応してきた。そんななか 9 月にはひかりの里まつり、10 月には日帰り旅行、12 月には釧路芸術館主催のクリスマスコンサートに招待され、歌ったり踊ったり楽しい時間を過ごし、またホーム内でできる誕生会やクリスマス会、節分、ひなまつりなどの行事を実施し余暇活動の充実を図った。

また短期入所事業については地域の方 3 名による定期的な利用があり、今年度より釧路市の地域生活拠点等の指定を受けたことから、地域ニーズを受け止め理解、促進を深めながら短期入所事業の利用増を図った。

今後も、日中支援サービス型のホームとして 24 時間のサポートを充実させ、ホームはばたきとも連携できる運営等を視野に入れながら外出、地域の行事、イベントへの参加、見学等利用者さんが地域の中で豊かな生活を実感し楽しい人生が送れるよう取り組んでいく。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者さんへの基本的生活習慣の支援および健康管理、行事、イベントへの参加など、地域資源を活用した余暇活動を実施し情緒の安定を図る	利用者さんの健康管理、感染症対策に重点を置き身辺、入浴、排せつなど基本的生活習慣の支援に取り組んだ。10月には動物園、リフレ入浴の日帰り旅行、12月には釧路芸術館主催のクリスマスコンサートに招待され、歌ったり踊ったりたのしい時間を過ごし、またホーム内で誕生会やクリスマス会、節分、ひなまつりなどの行事を実施し余暇活動を実施し、情緒の安定を図った。
2) 短期入所事業を実施し、地域貢献活動の促進を図る	利用実績； 実人員 3名 延 42日
3) 職員の資質向上のための研修体制の充実を図る	職員の資質向上のため、各種研修会へ参加した。 (1) 虐待・身体拘束研修 5月30日 6名 (2) 釧路愛育協会新任職員(本部) 6月25日 1名 (3) 釧路愛育協会幹部職員研修(本部) 7月23日 1名 (4) 虐待・身体拘束研修 10月30日 3名 (5) 釧路愛育協会職員研修(本部) 12月3日 1名
4) 敷地内や建物の安全、衛生、美観の向上を図る	敷地内の衛生管理、除雪、美観の向上のため排水溝の清掃整備および草刈りなどを実施した。

2. 行事計画の実施状況

月	全 体	ホームひかり
4	1) 保護者会 23日 7名	
5	1) 前期健康診断 13日~17日 10名	
6	1) 保護者会 25日 6名	1) 誕生会 30日 10名 2) ふれあい広場見学 23日 2名
7		1) 誕生会 26日 10名 2) 釧路霧フェスティバル見学 中止
8	1) 保護者会 27日 7名 2) 第13回「ひかりの里まつり」 12日 33名	くしろ港まつり見学 中止

	かしわ認定こども園園児参加	
9	1) 花火・焼肉 中止	1) 誕生会 30日 10名 2) 花火、焼き肉 中止
10	1) 保護者会 29日 5名	1) 日帰り旅行(動物園・リフレ) 2日 10名
11	1) 後期健康診断 11日~15日 10名	1) 誕生会 30日 10名
12	1) 保護者会 17日 6名	1) 芸術祭クリスマスコンサート招待 21日 10名 2) クリスマス会 23日 10名
1		1) 初詣 中止
2	1) 保護者会 28日 9名	1) 節分豆まき 4日 10名
3		1) ひなまつり 3日 10名 2) 誕生会 31日 10名
備考	ご家族、保護者には隔月発行の「ひかりの里だより」で情報を発信した。 誕生会、クリスマス会、節分豆まき、ひなまつりはホーム内で実施。	

3. 補助事業

1) 釧路市補助事業

事業名：	釧路市障がい者施設物価高騰対策支援金
内 容：	物価高騰対策
経 費：	事業活動による収入（釧路市補助金） 85,000 円

4. その他

1) 寄 贈	3件	評価額 15,500 円
物品名： 菓子・果物・ジュースなど		

令和6年度 入 退 居 状 況

(名)
定員 10

月	ホームひかり (10)		
	入 居	退 居	当月末人数
4	0	0	10
5	0	0	10
6	0	0	10
7	0	0	10

8	0	0	10
9	0	0	10
10	0	0	10
11	0	0	10
12	0	0	10
1	0	0	10
2	0	0	10
3	0	0	10
計	0	0	

ホームはばたき

コロナ、インフルエンザなどの感染状況を見ながら利用者さんが楽しく過ごせるよう感染対策に重点を置きながらマスクの着用、手指の消毒うがい、手洗いなど自主的に取り組めるよう支援した。また地域交流として、いきいきサロンなど町内会との連携を大切にするとともに、コンサート鑑賞や日帰り旅行、ホーム内でできる手芸、貼り絵、映画鑑賞、誕生会やクリスマス会などを実施し、利用者さんが楽しく快適に生活できるよう余暇活動の充実を図った。

昨年5月には皆さんが楽しみにしているコンサートが3年ぶりに釧路で開催され楽しい時間を過ごし、10月にはホームひかりと合同で動物園、山花リフレ方面への日帰り旅行も実施した。

今後は、ひかりの里との運営連携を視野に入れながら、地域の行事、イベントへの参加、見学など利用者さんが地域の中で豊かな生活を実感し楽しい人生が送れるよう取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者さんが積極的に地域との交流を図りながら地域に溶け込み、楽しく生活できるよう支援の充実を図る	コロナウイルス、インフルエンザ等の感染状況を見ながら外出や買い物、コンサート鑑賞や日帰り旅行を実施し、ホーム内で出来る、手芸、貼り絵、映画鑑賞などを行い、楽しく生活できるよう余暇活動の取り組みを進めた。
2) 職員の資質向上のための研修体制の充実を図る	職員の資質向上のため、各種研修会へ参加した。 (1) 虐待・身体拘束研修 5月31日 1名 (2) 虐待・身体拘束研修 10月28日 1名
3) 敷地内や建物の安全、衛生、美観の向上を図る	敷地内の衛生管理、美観の向上のため清掃および草刈り、除雪などを実施した。

2. 行事計画の実施状況

月	全 体	ホームはばたき
4	1) 保護者会 23日7名	1) 誕生会 23日 4名
5	1) 前期健康診断 13日~17日10名	1) 山内恵介コンサート 4名 2) 茅野公園まつり参加 中止
6	保護者会 25日6名	1) ふれあい広場見学 23日 4名
7		1) 厳島神社まつり参加 中止
8	1) 保護者会 27日7名 2) 第13回「ひかりの里まつり」 33名 かしわ認定こども園園児参加	1) 花火大会見学 中止
9	1) 花火・焼肉 中止	1) 誕生会 30日 4名 2) 焼き肉 中止
10	1) 保護者会 29日 5名	1) 日帰り旅行 4名
11	1) 後期健康診断 11日~15日 10名	1) いきいきサロン(町内会) 中止
12	1) 保護者会 17日 6名	1) 釧路芸術館クリスマスコンサート 不参加 2) クリスマス会 25日 4名
1		新年会中止
2	1) 保護者会 28日 9名	1) 道東みどり会参加 1名 2) 節分豆まき 3日 4名
3		ひなまつり 4日 4名
備考	誕生会、クリスマス会、節分豆まき、ひなまつりはホームで実施	

3. 補助事業

1) 釧路市補助事業

事業名：	釧路市障がい者施設物価高騰対策支援金
内 容：	物価高騰対策
経 費：	事業活動による収入（釧路市補助金） 42,500 円

4. その他

(1) 寄 贈 なし

令和6年度 入 退 居 状 況

(名)
定員5

月	ホームはばたき (5)		
	入 居	退 居	当月末人数
4	0	0	4
5	0	0	4
6	0	0	4
7	0	0	4
8	0	0	4
9	0	0	4
10	0	0	4
11	0	0	4
12	0	0	4
1	0	0	4
2	0	0	4
3	0	0	4
計	0	0	

鶴 が 丘 学 園

利用者さんの思いを受け止めながら、外出や日帰り旅行、施設間交流を行い、地域と関わることの楽しさ大切さを感じ、行事等においてもご家族や外部の方とも交流することができた1年となった。

意思決定支援の取組みとして、グループホームで暮らしたいと希望する利用者さん1名が地域移行する際に、会議等に参加し自ら思いを伝える機会を設け、相談支援事業所と協力してグループホームへの地域移行に繋げることができた。

充実した食生活として、バイキング食等のお楽しみ食をはじめ誕生会でのリクエスト食、普段の給食のなかでの選択食等、利用者さんの楽しみとなる食生活を意識して実施した。高齢化が進む中、嚥下等の問題でパン食の危険性があり一時提供を休止したが、お楽しみ食として提供することでパン食を楽しむことができた。

健康面においては、利用者さんの健康診断の実施とともに、早期の通院治療・訪問医療、嘱託医や協力医療機関と連携を強化し利用者さんが安心・安全を感じ取れるような実践を行った。また健康維持のため理学療法士による運動機能維持の活動や日常生活での介助方法等をアドバイスしてもらいながら嚥下能力や姿勢保持などの実践を継続した。

余暇活動では、日帰り旅行で釧路市の協力を得て福祉バスを利用することで、車いすの利用者さんも同じ場所へ旅行に行くことができ、外食も再開したことで、より満足感のある外出ができた。

日中活動（生活介護）では、地域交流を活性化するため、法人内の施設間で交流を行い、普段関わりの少ない認定こども園の園児や高齢の方との交流で人との関わり方や、自分たちのスキルを活かしたことで、普段の活動にも意欲をもって取り組む様子が見られた。

障がい福祉人材の確保・定着は喫緊の課題であり、ICT 導入等により業務軽減を行い、働きやすい環境作りを図っていくとともに、今後は特定技能外国人材の受け入れも進めていく。

施設内研修の充実では、ロールプレイや事例検討など取り組みやすい内容を提示し、グループワークを主体に虐待防止や意思決定支援について研鑽を積むことができ、今後も利用者さんの多様なニーズに対応できるチーム作りを進める。

BCP を主軸とした災害対策においては、緊急時の対応を研修等で周知するとともに定期的に防災訓練を実施した。また、地域で行われた釧路市の防災体制に関する研修でパネリストとして参加し地域との協力体制も進めることができた。

地域生活支援拠点としては、今年度も緊急性のある利用者さんを短期入所で受入れ、サービス担当者会議やご家族支援について釧路市と協力して進めた。また積極的に短期入所事業の利用促進を図り、障がい者支援施設として地域生活支援拠点の役割を担うことができた。

1 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者さんの人権尊重と、意思・意向に配慮した意思決定支援の取り組みの充実を進め、質の高い福祉サービスを提供する	(1) 虐待防止に関する取り組み ①虐待防止委員会の開催 7 回 ②身体拘束検討委員会の開催 12 回 ③虐待等に関する研修会の実施 6 回 (2) 健康管理の取り組み ①歯科往診：月 4 ～ 5 回不定期 ②皮膚科往診：年 6 回 ③内科往診：毎月（対象利用者 5 名） ④健康診断：年 2 回(5 月・11 月) 内科聴打診、胸部レントゲン検査、心電図、血液、尿検査（肺、胃、大腸がん検診等は個別のニーズに対応） ⑤身体測定（健康診断時以外にも適宜実施） ⑥インフルエンザ予防接種：年 1 回 (3) 食生活の充実 ①年 4 回のお楽しみ食の実施、選択食の実施、誕生会でのリクエスト食の実施。 ②個別的な食形態の対応～利用者さんの嚥下状態により 4 形態の対応。

2) 利用者さん一人ひとりの個性と特性を尊重した個別支援計画を実践するため、楽しみの持てる活動、外出、体力維持（運動機能維持）の活動を実施し、支援内容や介護技術等の向上に取り組む	(1)意思決定を尊重し、障がい特性に応じた個別支援計画を実施した。 ①目標達成ケース数 27 ケース ②特別な配慮を必要とするケース数 7 ケース (2) 適切な感染症対策を行いながら、外出を実施し余暇活動の充実を図った。 ①外出～延人数 775 名 ②ドライブ～延人数 416 名 (3) オンラインでの旅行体験の実施（3回） (4) 理学療法士による運動機能維持の活動 ①週に1回10名程度 延べ人数 476 名																				
3) 日中活動（生活介護）の充実を図り、利用者さんの楽しみ、生きがい作りに重点を置いた生産活動や創作活動、余暇活動、地域交流を含めた様々な体験ができる機会を確保する	(1) 日中活動の場の共有を図り、園内での活動を取り入れながら日中活動に楽しんで参加することに重点を置いた創作・生産活動およびクラブ活動や余暇活動を行った。 (2) 施設間交流の取組みで高齢者施設の利用者さんや認定こども園の園児と触れ合うことで、様々な経験ができ自分の仕事に自信を持つことができた。 (3) 日中活動時間にも積極的に外出、ドライブなどの余暇活動を行った。																				
4) 職員確保と人材定着のため、園内外の研修へ積極的に参加するとともに ICT 事業の導入により科学的に職員の業務負担軽減に繋がるようなシステムの構築を行い、福祉の仕事の魅力を発信できる職場づくりを進める	(1) 職員募集（生活支援員）の実施 ①ホームページに掲載 ②ハローワーク・各種学校等で募集 (2) 施設内の研修 実施回数 12 回 参加人員 延 164 名 〔主な研修内容〕 <table><tr><th>月</th><th>日</th><th>研 修 内 容</th><th>参加</th></tr><tr><td>4</td><td>6</td><td>新任職員研修</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>16</td><td>「食事関係について」 「虐待防止セルフチェックリストの結果」</td><td>18</td></tr><tr><td>6</td><td>4</td><td>「一般救急講習（講話・実技指導）」 講師：釧路市西消防署阿寒支署 金澤氏</td><td>16</td></tr><tr><td>7</td><td>11</td><td>「車いす車輛の使い方」 「虐待防止研修」グループワーク</td><td>14</td></tr></table>	月	日	研 修 内 容	参加	4	6	新任職員研修	3	4	16	「食事関係について」 「虐待防止セルフチェックリストの結果」	18	6	4	「一般救急講習（講話・実技指導）」 講師：釧路市西消防署阿寒支署 金澤氏	16	7	11	「車いす車輛の使い方」 「虐待防止研修」グループワーク	14
月	日	研 修 内 容	参加																		
4	6	新任職員研修	3																		
4	16	「食事関係について」 「虐待防止セルフチェックリストの結果」	18																		
6	4	「一般救急講習（講話・実技指導）」 講師：釧路市西消防署阿寒支署 金澤氏	16																		
7	11	「車いす車輛の使い方」 「虐待防止研修」グループワーク	14																		

	9	10	「熊対策について」 講師：釧路総合振興局保健環境部 川島氏 「虐待防止研修」グループワーク	16
	9	17	「むくみケアに関して」 講師：釧路孝仁会リハビリテーション病院 むくみ外来課長 森氏 「虐待防止研修」グループワーク	17
	11	7	「非常災害・BCP について」 「カテーテル・尿バッグの取扱いについて」	17
	11	19	「感染症対策」実践研修 「虐待防止研修」グループワーク	14
	12	17	「事故対策委員会～事例」グループワーク 「虐待防止研修」グループワーク	20
	1	23	「身体拘束等の適正化について」 グループワーク	8
	2	6	「意思決定支援について」 外部研修報告「処遇改善について」	12
	3	13	「感染症対策」実践研修 「非常災害」	9

(3) 施設外の研修

実施回数 29 回 参加人員 延 54 名

〔主な研修内容〕

・集合またはオンラインでの参加

月	日	研 修 名	参加
5	22	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会	1
6	17 18	令和 6 年度全道施設長セミナー	1
6	25	法人研修 新任職員研修 「釧路愛育協会の軌跡・法人職員としての心がまえ」	7
7	23	法人研修 幹部職員研修 「処遇改善について理解を深める」	4
7	30 31	福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (初心者コース) (オンライン)	2
8	1	道東知的障がい福祉協会 定期総会	1

	8	6	福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (チームリーダーコース) (オンライン)	1
	8	7	介護職員専門研修 I (オンライン)	2
	8	9	看護師専門研修 (オンライン)	1
	8	23	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会	1
	8	25	医療・介護従事者のための新興感染症感染 予防講座 (オンライン)	1
	9	9	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会	1
	9	21 22	強度行動障がい支援者養成研修～基礎研修 (オンライン)	2
	9	26 27	福祉専門職のためのキャリアアップ研修 (中堅職員コース)	2
	10	10 11	強度行動障がい支援者養成研修～基礎研修 (オンライン)	2
	11	1	令和 6 年度道東知的障がい福祉協会 新任 職員研修会	3
	11	5	法人研修 専門研修 「災害に備えた施設の取組み」	5
	11	8	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会	1
	11	19 20	令和 6 年度道東知的障がい福祉協会 職員 研修会	3
	12	3	法人研修 職員研修 「虐待防止・権利擁護」	3
	12	4	北海道釧路総合振興局集団指導	1
	12	18	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会	1
	2	3	北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修(施 設従事者研修) (オンライン)	1
	2	6 7	北海道サービス管理責任者更新研修 (オン ライン)	1
	2	7	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会 (オンライン)	1
	2	14	令和 6 年度 栄養管理研修会 (オンライン)	1
	2	17 18	全道施設長セミナー	1
	3	6	給食施設従事者研修会 (オンライン)	2
	3	13	道東知的障がい福祉協会支援研究委員会	1

5) サービスの質向上や安全対策の充実を図るため、環境美化や環境整備の見直しを行うとともに、定期的に非常災害に備えた防災訓練を実施する	(1) ヒヤリハット報告件数は 37 件 事故報告件数は 13 件 事故報告件数に比べ、ヒヤリハットの件数が少ないことが事故の増加要因とも考えられるため、ヒヤリハットの取組みの強化とともに介護スキルの習得やマニュアルの遵守を徹底していく。 (2) 非常災害の取り組み ①火災避難訓練 7 回 ②地震避難訓練 2 回 ③風水害訓練（非常電源点検） 3 回 ④消防合同訓練（消防検証） 1 回
6) 地域生活支援拠点としての役割を果たすため、短期入所事業や相談事業などにより地域のニーズ等に応えるとともに、地域貢献活動の促進を進める	(1) 短期入所事業 ①地域で暮らす障がいのある方の短期入所の受入を行う。緊急ケースの利用者さんの対応も実施。 利用実績； 実人員 21 名 延 620 日 (2) 地域貢献活動 ①釧路空港ウェルカムフラワー事業（協賛樽 1 樽） ②地域の清掃（園周辺のごみ拾いなど） 年 2 回 ③施設間交流 6 回（長生園 1 回、かしわ認定こども園 1 回、あいこう認定こども園 3 回）
7) 利用者ならびに家族懇談会を定期的を開催し、利用者さん・ご家族が安心して過ごせるように情報の共有を図る	(1) 利用者懇談会 12 回 食堂にて利用者を中心に、利用者さんの意見発表や『ニコリほっと』等の発表を行い、潤いのある生活を提起した。 (2) 家族懇談会 6 回 (3) 学園だより発行、利用者さんの写真を添付した近況報告をご家族へ送付 6 回
8) 各種検査等の実施	(1) 井戸水水質検査； 9 項目（毎月）、25 項目（年 4 回）、50 項目（年 1 回） (2) 貯水タンク（2 槽）清掃； 年 2 回 (3) 腸管系法定伝染病検査：栄養士、調理員、菓子製造利用者さん・職員 12 回（0-157・ノロウイルス高感度検査実施）水道技術管理者など（年 2 回） (4) 職員健康診断 2 回（夜勤職員） 1 回（その他の職員）

	(5) インフルエンザ予防接種 (6) 衛生管理委員会を設置 メンタルヘルスケア・ストレスチェック実施1回
--	---

2. 行事計画の実施状況

月	行 事	月	行 事
4	1) 誕生会 16 日 全員 2) 利用者懇談会 18 日 全員	10	1) 十勝日帰り旅行 3 日 15 名 2) 十勝日帰り旅行 8 日 15 名 3) 利用者懇談会 8 日 全員 4) 誕生会 15 日 全員 5) 十勝日帰り旅行 22 日 16 名 6) 十勝日帰り旅行 31 日 10 名
5	1) 利用者懇談会 9 日 全員 2) 春の大掃除 10 日 70 名 3) 誕生会 21 日 全員 4) 春フェス 23 日 全員 5) 春の健康診断 28 日 全員	11	1) 第 52 回開園記念日 1 日 2) お楽しみ食 5 日 全員 3) 釧路パラスポフェスタ 10 日 6 名 4) 利用者懇談会 12 日 全員 5) 防災の日 13 日 全員 6) 施設間交流 15 日 6 名 7) 誕生会 19 日 全員 8) つるのすけマート 22 日 全員 9) 秋の健康診断 25 日 名
6	1) 利用者懇談会 11 日 全員 2) 誕生会 11 日 全員 3) 施設間交流 11 日 11 名 4) 焼肉パーティー 21 日 全員 5) ふれあい広場 23 日 88 名 6) お楽しみ食 25 日 全員	12	1) 年末大掃除 6 日 全員 2) 利用者懇談会 10 日 全員 3) 誕生会 10 日 全員 4) 施設間交流 18 日 4 名 5) クリスマス会 24 日 全員 6) 冬期帰省 28 日～1月6日 21 名
7	1) 網走日帰り旅行 8 日 14 名 2) 利用者懇談会 9 日 全員 3) 防災の日 10 日 全員 4) 誕生会 16 日 全員 5) 網走日帰り旅行 16 日 15 名 6) 網走日帰り旅行 22 日 17 名 7) スポーツレクリエーション 28 日 全員	1	1) 利用者懇談会 14 日 全員 2) 新年会 16 日 全員 3) 誕生会 21 日 全員

8	1)施設間交流	1 日	2 名	2	1)節分	3 日	全員
	2)利用者懇談会	6 日	全員		2)利用者懇談会	13 日	全員
	3)誕生会	20 日	全員		3)オンライン旅行（東京）	13 日	28 名
					4)誕生会	18 日	全員
					5)オンライン旅行（大阪）	18 日	27 名
					6)施設間交流	19 日	4 名
					7)道東みどり会	20 日	11 名
					8)オンライン旅行（昭和歌謡）	27 日	26 名
9	1)福祉バス旅行	5 日	5 名	3	1)防災の日	5 日	全員
	2)花火大会	6 日	全員		2)ひまわり ID スポーツ大会	9 日	8 名
	3)利用者懇談会	12 日	全員		3)誕生会	18 日	全員
	4)誕生会	17 日	全員		4)お楽しみ食	27 日	全員
	5)第 53 回学園祭	29 日	全員		5)利用者懇談会	31 日	全員
※ その他の行事等 ・避難訓練（毎月）・建物設備安全管理点検（毎月）							

3. 補助事業

1) 北海道補助事業

事業名：	令和6年度障がい者用介護ロボット等及びICT導入支援事業		
内 容：	眠りスキャン導入(8台)		
経 費：	事業活動による収入(北海道補助金)	996,000 円	
	事業活動による収入(自己資金)	332,800 円	
	総経費	1,328,800 円	

2) 釧路市補助事業

事業名：	釧路市障がい者施設物価高騰対策支援金		
内 容：	物価高騰対策		
経 費：	事業活動による収入(釧路市補助金)	782,000 円	

4. 環境整備事業の実施

1) 学園前入口キャスターゲート取付

事業名：	入口キャスターゲート取付		
工 事：	開始日 令和6年7月5日	完了日 令和6年7月7日	
内 容：	クマ防止対策による入口ゲート設置工事		
経 費：	事業活動による収入(自己資金)	1,460,000 円	

5. その他

1)	ボランティア： 64 回		
	鶴が丘学園ボランティア（ご家族有志）・学生		
	釧路市ふれあい広場ボランティア		
2)	寄 贈： 14 件	評価額	128,693 円
	物品名：お菓子、果物、ソフトクリーム、飲み物など		

令和 6 年度 入退所の状況 (名)

(入所の状況)

定員 90

月	入所数	退所数	当月末人数
4	1	0	84
5	1	0	85
6	1	0	86
7	0	0	86
8	0	0	86
9	0	0	86
10	0	0	86
11	0	2	84
12	0	0	84
1	0	0	84
2	0	0	84
3	0	0	84
合 計	3	2	

令和 6 年度 入退所の状況 (名)

(通所の状況)

定員 10

月	入所数	退所数	当月末在籍者数
4	0	0	7
5	0	0	7
6	0	0	7
7	0	0	7
8	0	0	7
9	0	0	7
10	0	0	7
11	0	0	7
12	0	0	7
1	0	0	7

2	1	0	8
3	0	0	8
合 計	1	0	

すみれホーム

適切な感染症予防対策を続けながらも、利用者さんの日々の生活に寄り添い安心・安全・快適に過ごせるよう配慮してきた。マスク着用・手洗い・消毒等の感染症予防対策が続けたが、年末年始には利用者さん、職員の半数以上がコロナウイルスに罹患し、各ホームを閉鎖しての支援を余儀なくされたため、今後も BCP の見直し等を行いながら感染症対策は継続して行っていく。

生活面では利用者さんのニーズにあった個別支援計画に即して支援を実施し、個々の日中活動事業所と連携を図りながら利用日数を調整することで無理をすることなく快適で楽しみのある生活が送れるよう支援した。また余暇活動では、利用者さんが楽しみにしていた日帰り旅行や、焼肉パーティー、花火大会、クリスマス会など季節ごとの行事を行ったり、コロナ禍以降久しぶりに町内会の盆踊り大会等の行事に参加したり、個人、グループごとの外出やレクリエーションも多数取り入れ、余暇活動を充実させた1年となった。

職員研修事業では、学園の施設内研修に参加するとともに、会議等で研修内容を職員に周知したが、外部研修に参加する機会が少なかったため、今後は職員の資質向上を目指し職員研修の充実を進める。

ホームとして利用者さんの支援区分変更や居宅等の増加により給付費が減少したことや職員体制、物価高騰等による支出が増えたことにより運営が厳しい1年となった。今後、利用料の改正や職員体制の変更、新たな加算の模索などを行い、日中サービス支援型への変更も視野に入れ適正な運営の構築を図りたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 利用者さん個々の日常生活やニーズに対応した丁寧かつ適切な支援の実施	(1) 利用者さん一人ひとりの要望を受け止め、日帰り旅行、外出やレクリエーション等を実施した。 (2) 日中活動事業所と連携を図り、利用日数調整等を行い、利用者さんが無理なく活動ができるよう個別に支援を行った。
2) 高齢化や生活習慣病に伴う健康管理・維持に努め医療機関との連携を図る	(1) 定期通院や症状に合わせた早期通院を行うとともに、健康診断、血液検査、がん検診を実施した。 (2) インフルエンザ予防接種の実施 (3) 訪問診療(歯科)～利用者さん 7名

3) 利用者さんやご家族の思いに対応した個別支援計画の作成と実施	(1) 利用者さんと面談を行い、ニーズに対応した支援計画を作成し実施した。 (2) 利用者さん一人ひとりの余暇に対するニーズを受け止めながら支援を実施した。																																
4) 地域との連携を深め、地域貢献活動を積極的に行う	(1) 町内会のイベントに参加し久しぶりに交流を行うことができた。																																
5) 職員の資質とサービスの向上をめざし、ホーム内外での職員研修の充実を図る	(1) 施設内の研修 実施回数 7回 参加人員 延 26名 〔主な研修内容〕 <table><tr><th>月</th><th>日</th><th>研 修 内 容</th><th>参加</th></tr><tr><td>4</td><td>16</td><td>「食事関係について」 「虐待防止セルフチェックリストの結果」</td><td>1</td></tr><tr><td>6</td><td>4</td><td>「一般救急講習（講話・実技指導）」 講師: 釧路市西消防署阿寒支署 金澤氏</td><td>1</td></tr><tr><td>9</td><td>17</td><td>「むくみケアに関して」 講師: 釧路孝仁会リハビリテーション病院 むくみ外来課長 森氏 「虐待防止研修」グループワーク</td><td>1</td></tr><tr><td>12</td><td>25</td><td>「虐待防止研修」</td><td>7</td></tr><tr><td>2</td><td>6</td><td>「意思決定支援について」 外部研修報告「処遇改善について」</td><td>1</td></tr><tr><td>3</td><td>12</td><td>「非常災害」</td><td>8</td></tr><tr><td>3</td><td>26</td><td>「意思決定支援について」</td><td>7</td></tr></table>	月	日	研 修 内 容	参加	4	16	「食事関係について」 「虐待防止セルフチェックリストの結果」	1	6	4	「一般救急講習（講話・実技指導）」 講師: 釧路市西消防署阿寒支署 金澤氏	1	9	17	「むくみケアに関して」 講師: 釧路孝仁会リハビリテーション病院 むくみ外来課長 森氏 「虐待防止研修」グループワーク	1	12	25	「虐待防止研修」	7	2	6	「意思決定支援について」 外部研修報告「処遇改善について」	1	3	12	「非常災害」	8	3	26	「意思決定支援について」	7
	月	日	研 修 内 容	参加																													
	4	16	「食事関係について」 「虐待防止セルフチェックリストの結果」	1																													
	6	4	「一般救急講習（講話・実技指導）」 講師: 釧路市西消防署阿寒支署 金澤氏	1																													
	9	17	「むくみケアに関して」 講師: 釧路孝仁会リハビリテーション病院 むくみ外来課長 森氏 「虐待防止研修」グループワーク	1																													
	12	25	「虐待防止研修」	7																													
	2	6	「意思決定支援について」 外部研修報告「処遇改善について」	1																													
	3	12	「非常災害」	8																													
	3	26	「意思決定支援について」	7																													
	(2) 施設外の研修 実施回数 3回 参加人員 延 3名 〔主な研修内容〕 ・ 集合またはオンラインでの参加 <table><tr><th>月</th><th>日</th><th>研 修 名</th><th>参加</th></tr><tr><td>7</td><td>23</td><td>法人研修 幹部職員研修 「処遇改善について理解を深める」</td><td>1</td></tr><tr><td>12</td><td>3</td><td>法人研修 職員研修 「虐待防止・権利擁護」</td><td>1</td></tr><tr><td>12</td><td>7</td><td>北海道釧路総合振興局集団指導</td><td>1</td></tr></table>	月	日	研 修 名	参加	7	23	法人研修 幹部職員研修 「処遇改善について理解を深める」	1	12	3	法人研修 職員研修 「虐待防止・権利擁護」	1	12	7	北海道釧路総合振興局集団指導	1																
	月	日	研 修 名	参加																													
	7	23	法人研修 幹部職員研修 「処遇改善について理解を深める」	1																													
	12	3	法人研修 職員研修 「虐待防止・権利擁護」	1																													
12	7	北海道釧路総合振興局集団指導	1																														

6) サービスの質向上や安全対策の充実を図り、感染症予防対策と非常災害対策に継続して取り組む	(1) 非常災害の取り組み ①火災避難訓練 4回 ②地震避難訓練 1回 内1回は津波想定とし、釧路明輝高校の3階に避難する訓練を実施。 ③風水害訓練 1回
--	---

2. 行事計画の実施状況

月	すみれ	はまなす	葵	すずらん
4	利用者懇談会 14 日	利用者懇談会 14 日	利用者懇談会 14 日	利用者懇談会 14 日
5	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日
6	1)焼肉パーティー12 日 2)利用者懇談会 11 日 3)ふれあい広場 23 日	1)焼肉パーティー12 日 2)利用者懇談会 11 日 3)ふれあい広場 23 日	1)焼肉パーティー12 日 2)利用者懇談会 11 日 3)ふれあい広場 23 日	1)焼肉パーティー12 日 2)利用者懇談会 11 日 3)ふれあい広場 23 日
7	1)利用者懇談会 9 日 2)網走日帰り旅行12 日	1)利用者懇談会 9 日 2)網走日帰り旅行12 日	1)利用者懇談会 9 日 2)網走日帰り旅行12 日	1)利用者懇談会 9 日 2)網走日帰り旅行12 日
8	1)利用者懇談会 9 日 2)盆踊り大会 10 日 3)花火大会 16 日	1)利用者懇談会 9 日 2)盆踊り大会 10 日 3)花火大会 16 日	1)利用者懇談会 9 日 2)盆踊り大会 10 日 3)花火大会 16 日	1)利用者懇談会 9 日 2)盆踊り大会 10 日 3)花火大会 16 日
9	利用者懇談会 11 日	利用者懇談会 11 日	利用者懇談会 11 日	利用者懇談会 11 日
10	1)利用者懇談会 9 日 2)北見日帰り旅行16 日	利用者懇談会 9 日	利用者懇談会 9 日	利用者懇談会 9 日
11	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日
12	1)利用者懇談会 11 日 2)クリスマス会 16 日	1)利用者懇談会 11 日 2)クリスマス会 16 日	1)利用者懇談会 11 日 2)クリスマス会 16 日	1)利用者懇談会 11 日 2)クリスマス会 16 日
1	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日	利用者懇談会 8 日
2	利用者懇談会 19 日	利用者懇談会 19 日	利用者懇談会 19 日	利用者懇談会 19 日
3	利用者懇談会 12 日	利用者懇談会 12 日	利用者懇談会 12 日	利用者懇談会 12 日
*その他の行事～誕生会（利用者さんの誕生日）・避難訓練・体重測定 *利用者さんの希望するレクリエーション（外出など）				

3. 補助事業

1) 釧路市補助事業

事業名：	釧路市障がい者施設物価高騰対策支援金
内 容：	物価高騰対策
経 費：	事業活動による収入（釧路市補助金）187,000 円

4. その他

1) 寄 贈：	6 件	評価額：	46,500 円
物品名：	お菓子、飲み物、果物など		

令和 6 年度 入退居の状況

(名)

入居の状況

定員 22

月	入居数	退居数	当月末人数
4	0	0	22
5	0	0	22
6	0	0	22
7	0	0	22
8	0	0	22
9	0	0	22
10	0	0	22
11	0	0	22
12	0	0	22
1	0	0	22
2	0	0	22
3	0	1	21
合 計	0	1	

障がい相談支援室 鶴が丘

相談支援においては権利擁護に配慮した計画相談を継続して行い、就労ならびに障がい児相談支援を中心に家庭支援など幅広く福祉サービスを提供、直接利用者さんやご家族、事業所等への訪問をしながら丁寧かつ柔軟な相談支援を実施できた。

「本人中心(意思決定)支援計画」を実現するために、面談等により利用者さん本人の思いを傾聴し思い描いた生活を実現できるよう、事業所や関係機関と連携を図り総合的なサービスの提供を実施することができた。

関係機関との連携では、釧路市の障がい者自立支援協議会相談支援部会等に積極的に参加し情報収集を図るとともに、利用者さんの多様なニーズに応えられるよう支援を行った。

今後も地域共生社会に向けてより総合的な相談支援を実施できるように、研修等にも積極的に参加し人材育成を図りながら、釧路愛育協会総合相談室とも連携し相談事業の充実をさせていく。

1. 事業の実施状況

事業計画	実施状況
1) 権利擁護に配慮した利用者さん中心の相談支援サービスと、面接・面談を講じながら適切な相談支援を実施する	(1) 事業所や家庭を訪問して面接、面談を行い適切な相談支援を実施。 (2) 関係市町村、医療、福祉サービス事業所等関係機関と連携し、情報の共有を図り総合的なサービスの提供を実施。
2) 利用者さんが地域での日常生活および社会生活が営めるよう、ご家族支援を含む幅広いニーズに対応した相談支援サービスを提供する	(1) ご家族、事業所、関係機関等との連携をとりながら、利用者さん本人の意思決定が優先されるような相談を行うよう努めた。 (2) グループホーム等の見学を積極的に実施し、地域で日常生活、社会生活が営めるよう相談支援を行った。
3) 専門的な知識や支援技術を深め、専門職としての力量を備えた相談員の育成強化を図り、福祉サービス事業所等関係機関との連携の強化に努める	(1) 外部研修： 1件1名参加 (2) 釧路市の障がい者自立支援協議会、相談支援部会等にも積極的に参加し、情報収集や連携強化に努めた。
4) 定期的にモニタリングを行い、計画等の見直しを行う	(1) モニタリング 55回
5) 計画相談支援および継続サービス利用支援。モニタリングを行い計画の見直しを行う	(1) サービス利用支援 15回 (2) 継続サービス利用支援 25回 (3) 障がい児支援利用援助 5回 (4) 継続障がい児支援利用援助 10回

かしわ認定こども園

本年度も基本理念、目標に基づき子どもの人権や主体性を尊重する教育・保育の実践に努めた。子ども一人ひとりの気持ちを受け止めながら、豊かな経験を通して主体的に体験活動ができる環境づくりを行った。また、行事等の在り方を見直し、検討を重ね、戸外活

動や運動教室、音楽リズムは継続して行い、発達、成長をしていく軸を大切にしながら情緒の安定と体力増進を深めた。

食育および乳児食、食物アレルギー対応等の安全と充実では、食を営む力を育むため野菜栽培、収穫、クッキング、食育教室などを実施し、季節の食材に触れる機会を設け、体験を通して食への興味関心を高めた。離乳食やアレルギー対応食等では、家庭との連絡を密にしながら個別の献立を作成し、提供してきた。安全面、衛生面においても細心の注意を払い安全面や衛生面の徹底を図った。

子育て家庭支援や地域の連携では特別支援保育対象児の定期的な個別面談他、関係機関と連携して子育てに不安を抱える家庭に寄り添いながら、保護者の多様なニーズに対応してきたが、年々増加傾向にあるため引き続き関係機関との連携を深めながら子育て家庭支援を積極的に行い、不安軽減に努めていく。また、園開放や地域自治会の参加、高齢施設、小学校・中学校との交流活動を行い、子どもたちが多世代と関りを持ちながら社会性を育む機会を積極的に設けた。今後も地域社会とのつながりを大切にしながら、開かれた認定こども園を目指していきたい。

職員の専門性を高め、質の高い教育・保育を提供するため、施設内研修の充実と関係機関の各研修に積極的に参加した。また、子ども一人ひとりの人権・人格を尊重する保育のために、人権擁護のセルフチェックリストを継続して行い、振り返るとともに不適切な対応の未然防止に努めた。専門職としての知識を高め、質の高い教育・保育を提供できるよう、研修体制の資質の向上を目指した。

自然災害時や、感染症流行により事業の継続が困難にならないよう、BCPの作成を進めた。職員への周知と研修、訓練、定期的な見直しを行い、子どもの安全を最優先に事業を継続していけるよう対応体制の強化を図っていく。

今後も地域のニーズに応じた柔軟な受け入れ体制を確保していくため、引き続き職員体制の維持、人材確保に努めていきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 情緒の安定と体力・健康の増進を深め主体性を尊重する教育・保育	(1) 体を動かす心地よさを感じながら、乳児の外気浴、園庭、戸外活動、運動教室、音楽リズムなどを取り入れた。 (2) 日々の遊び、各行事などの体験を通して自然に文字や数に触れ、気づき、興味関心が持てるよう環境の工夫を継続して行った。 (3) 嘱託医による内科検診を年2回、歯科検診を年1回行い、子どもたちの健康促進、結果報告など保護者との連携を密に行うことができた。

	(4) 薬剤師による空調、照度、水質検査を定期的を実施。園舎内、玩具等の消毒を随時行い、感染症の流行を防ぐとともに、玄関掲示、おたより、などで保護者へ情報提供を行った。
2) 食育および離乳食、食物アレルギー対応等の安全と充実	(1) 食を営む力を育むため、食育教室を毎月実施し、身近な食材に触れたり、いもうえや野菜栽培、栄養士と保育教諭が連携しクッキングを実施し、食に興味、関心が持てるよう食の充実を図った。 (2) 献立表、給食だよりを毎月発行。また、継続して保護者給食アンケートを実施し園での取り組みを家庭と共有することができた。 (3) 毎月調理員会議、離乳食、アレルギー対応会議を実施し食の安全・充実に努めた。 (4) 家庭と連携しながら個別に応じた離乳食、アレルギー対応の献立の作成。 (5) 給食従事者と乳児担当保育教諭の検便検査を毎月実施し感染予防、衛生面の徹底に努めた。
3) 子育て家庭支援や地域社会と連携し、地域に開かれた子育て支援を実施	(1) 個別の連絡帳、クラスごとのお知らせボード、おたよりなどで情報交換をしながら子どもの成長、発達を共有し、家庭との連携を図った。 (2) 保護者アンケートを実施して結果を保護者参加日で伝え協力と理解を得ながら教育・保育の質向上に努めた。 (3) 感染予防の啓蒙、感染状況の情報提供、家庭と情報交換しながら健康管理に努め、安心して過ごせるよう安全管理点検を行い環境整備に努めた。 (4) 地域のニーズを充足するため、園開放や乳児、特別支援保育など関係機関と連携し、また、個別面談を実施し子育て家庭支援に努めた。

4) 職員の専門性を高めるため園内外研修の促進を図り、資質向上をめざす	(1) 教育および保育の質を高めるために園と職員の自己評価を実施。 (2) 年間の職員研修計画に基づき研修の充実を図った。 〔主な研修内容〕 <table border="1"> <tr> <th>研修会</th><th>参加人数</th></tr> <tr> <td>園長研修</td><td>12</td></tr> <tr> <td>栄養士研修</td><td>6</td></tr> <tr> <td>キャリアアップ研修</td><td>5</td></tr> <tr> <td>北海道社会福祉協議会主催研修</td><td>1</td></tr> <tr> <td>釧路市保育協議会保育者研修</td><td>14</td></tr> <tr> <td>私立保育園連合会主催研修</td><td>18</td></tr> <tr> <th>法人研修</th><th>参加人数</th></tr> <tr> <td>新任職員研修</td><td>2</td></tr> <tr> <td>幹部職員研修</td><td>4</td></tr> <tr> <td>専門研修</td><td>2</td></tr> <tr> <td>職員研修</td><td>1</td></tr> <tr> <th>施設内研修</th><th>参加人数</th></tr> <tr> <td>救命救急研修</td><td>23</td></tr> <tr> <td>音楽リズム研修</td><td>14</td></tr> <tr> <td>嘔吐処理研修</td><td>14</td></tr> <tr> <td>音楽と絵本の研修</td><td>8</td></tr> </table>	研修会	参加人数	園長研修	12	栄養士研修	6	キャリアアップ研修	5	北海道社会福祉協議会主催研修	1	釧路市保育協議会保育者研修	14	私立保育園連合会主催研修	18	法人研修	参加人数	新任職員研修	2	幹部職員研修	4	専門研修	2	職員研修	1	施設内研修	参加人数	救命救急研修	23	音楽リズム研修	14	嘔吐処理研修	14	音楽と絵本の研修	8
研修会	参加人数																																		
園長研修	12																																		
栄養士研修	6																																		
キャリアアップ研修	5																																		
北海道社会福祉協議会主催研修	1																																		
釧路市保育協議会保育者研修	14																																		
私立保育園連合会主催研修	18																																		
法人研修	参加人数																																		
新任職員研修	2																																		
幹部職員研修	4																																		
専門研修	2																																		
職員研修	1																																		
施設内研修	参加人数																																		
救命救急研修	23																																		
音楽リズム研修	14																																		
嘔吐処理研修	14																																		
音楽と絵本の研修	8																																		
5) 子ども一人ひとりの人権・人格を尊重する保育のために職員の認識共有の徹底を図る	(1) 施設内研修を実施し、子どもを尊重することや人権擁護についてあらためて意識を高めた。 (2) 人権擁護のためのセルフチェックリストを実施し不適切な対応の未然防止に努めた。																																		
6) 自然災害時や感染症流行に備え、BCPの作成を進める	(1) BCPを作成し、自然災害時や感染症流行など、緊急時における対応体制の強化を図った。 (2) 職員へ周知し、研修を重ね、見直しを行っていく。																																		

2.行事計画の実施状況

月	実施状況および参加人数
4	1) 入園・進級式 1日 58名 2) 裸足保育開始 1日
5	1) 保護者参加日 14日～ 全クラス 2) 足型とり・掲示 13～25日 全クラス 3) いも、野菜の種まき 22日 60名

6	1) 春の健康診断 11・20・21 日 全園児 2) 歯科検診 26 日 全園児 3) 交通安全教室 10 日 86 名
7	1) 親子バス遠足 4 日 3・4・5 才児 56 名 2) お店屋さんごっこ 17 日 79 名 3) 長生園とのレク交流 30 日 4・5 才児 40 名
8	1) 港まつりヨサコイ参加 4 日 4・5 才児 40 名 2) 収穫祭 23 日 85 名
9	1) 第 6 回運動会 28 日 全園児 90 名 2) ひかりの里まつり 12 日 全園児 83 名
10	1) 消防合同避難訓練 10 日 81 名 2) 交通安全教室 17 日 88 名 3) 秋の健康診断 7・15・18 日 全園児 4) 裸足保育終了 31 日
11	1) 第 6 回お遊戯会①30 日 0・2・3・4 才児 50 名
12	1) 第 6 回お遊戯会②10 日 1・5 才児 32 名 2) スケート体験 17 日 4 才児 18 名 3) 鶴ヶ丘学園との交流 18 日 4・5 才児 37 名 4) クリスマス会 25 日 84 名
1	1) 新年おもちつきお楽しみ会 9 日 87 名 2) 足型とり・掲示 14～25 日 全クラス 3) スケート体験 14・15 日 5 才児 44 名
2	1) 節分 3 日 83 名 2) 保護者参加日 7 日～全クラス 3) 小学校体験入学 18 日 22 名
3	1) ひなまつり 3 日 89 名 2) 卒園式 18 日 38 名 3) お別れ会 24 日 82 名 4) 修了式 28 日 84 名

3. 保育事業

1) 北海道補助事業

事業名：	子育て支援対策事業費補助金	
内 容：	園庭大型遊具設置費用	
経 費：	事業活動による収入（補助金）	413,000 円
事業名：	保育所等に係る給食原材料費等支援事業支援金	
内 容：	給食材料費補助	
経 費：	事業活動による収入（補助金）	180,000 円

2) 釧路市補助事業

事業名：	釧路市児童福祉施設等熱中症対策事業費補助金		
内 容：	遊戯室エアコン設置費用		
経 費：	事業活動による収入（補助金）	1,029,000 円	

令和6年度 入 退 園 状 況 (名)

定員 90

(1号認定 9)

(2・3号認定 81)

月	入園数	退園数（内卒園児）	当月末人数 （内1号認定）
4	10	17(15)	88 (3)
5	2	0	90 (2)
6	1	0	91 (4)
7	0	1	90 (4)
8	0	0	90 (4)
9	0	0	90 (4)
10	0	0	90 (5)
11	0	0	90 (5)
12	3	0	93 (5)
1	0	1	94 (5)
2	0	0	94 (6)
3	0	1	93 (6)
合計	16	20	

あいこう認定こども園

9月に園舎が完成するまでの間、新園舎での教育および保育に繋がるよう仮園舎でも様々な制限のなか工夫を凝らしながら園生活を過ごしてきたが、園舎が完成しより安全で快適な環境のもと子どもたちの最善の利益を最優先にしながら、基本的人権や主体性を大切に教育および保育を行うよう努めてきた。

また、近隣の教育機関や法人内の施設との交流に積極的に参加したことで多様な人間関係を築く機会となり、子どもたちが他者を思いやる心や公共の場でのマナーを学ぶなど、

社会性を育めるよう努めてきた。

落成式にはたくさんの関係者に参列していただき、盛大に祝うことができた。日程を改め在園児、近隣の方を対象にした内覧会を開催したところ、延べ 322 名と多くの人たちが来園し、さらに新園舎引っ越し以降も見学者が多く、地域に必要とされる園として期待されていることを強く感じた。

職員の専門的質の向上では、人権擁護のためのセルフチェックリストを継続して実施し、園内研修で振り返りを行い、他の研修についても積極的に参加することで更に専門性を高めることができた。また、安全管理面では今年度 BCP を策定し、いざという時に備えた意識の向上を図るなどして、緊急事態が発生しても事業を継続し迅速な復旧を行っていけるようにした。しかしまだ未整備のところもあり、今後も都度見直しを行っていく。

食育の充実では、アレルギー児に対する取り組みを給食会議などで都度見直し、食の安全確保に配慮した。また、保育教諭と栄養士が連携し園児に旬の食材や行事食の意味や食文化への理解を伝え、さらに鶴が丘学園との交流の中で広い畑で様々な野菜の栽培・収穫を経験することで子どもたちの食への関心がさらに深まるよう努めてきた。

子育てや家庭支援の連携では、支援が必要な園児や保護者の生活の実態を把握し、相互の信頼関係を基本としながら関連機関とも連携するなかで、保護者が子どもの成長に気付き子育ての喜びや自信を感じられるよう継続して支援を行ってきた。また、園開放事業では地域の子育て室に期待感を持って見学に来る保護者も多く、その後入所に繋がるケースもあったことから今後も子育て家庭の多様なニーズに応じた支援を提供していく。

園の建て替えという大きな目標に向かって職員間はもちろんのこと、園児や保護者も一体となって取り組み、新たな一歩を踏み出す年度となった。これからも園児、保護者、地域の方と連携を図りながら新園舎の設備を十分に活用し、子どもたちの意欲的な活動や主体性をさらに引き出せるよう取り組んでいきたい。

1. 業務計画の実施状況

事業計画	実施状況
1) 年度途中で環境が変わっても保護者と子育てや家庭支援の連携を図り、子ども達の人格形成を培うため教育および保育の充実を図る	(1) 園児の体力と健康を図るため、戸外活動を多く取り入れた。また、外部講師を招いて音楽リズムや体操などを行う事で身体の発達や情緒の安定、豊かな感性や意欲を引き出せるよう努めた。 (2) 検温、手指の消毒等行い健康観察に努め、遊具の消毒や換気など基本的感染症対策を継続して行った。 (3) 延長保育事業利用は各家庭のニーズに対応しながら子どもたちの気持ちに寄り添った教育およ

	び保育を心掛けてきた。 (4) 連絡帳やお便りの他にも参加日や個別懇談などで園と家庭の情報を共有し、保護者や園に寄り添った教育および保育ができるよう連携を深めていった。 (5) 保護者アンケートを年1回実施、結果をおたよりで伝え共有することで次につなげていくことができた。 (6) 興味・関心を育むため遊びを工夫し、また人と人とが繋がりあうために文字が存在していることを自然に感じ取れるような環境設定を継続して行ってきた。また発達を促すため、5歳児には個別の教材を使用し就学に向けて期待感を持てるように努めた。 (7) 昨年度同様、嘱託医による内科検診を年2回、歯科検診は年1回行い、各種予防接種の啓蒙を積極的に行う事で子どもたちの健康を促進することができた。 (8) 園での解決が困難な家庭のケースに関しては道や市の関係機関と連携し、支援が必要な園児に対しては個別の訪問支援事業を活用していった。 (9) 園内研修で感染症や救命救急について確認を行い、安全対策に努めた。																
2) 園内外の研修に積極的に参加し、子ども達の人権擁護についてより意識を高め職員の専門的質の向上を芽指す	(1) 教育および保育の質を高めるために園と保育教諭の自己評価を行った。 (2) 主な研修内容 <table> <tr> <td>①研修会</td><td>参加人数</td></tr> <tr> <td>(A) 園長研修 (年 12 回)</td><td>12 名</td></tr> <tr> <td>(B) 栄養士研修 (年 12 回)</td><td>5 名</td></tr> <tr> <td>(C) 道保協キャリアアップ研修</td><td>5 名</td></tr> <tr> <td>(D) 釧路保育協議会</td><td>14 名</td></tr> <tr> <td>(E) 私立保育園連合会</td><td>18 名</td></tr> <tr> <td>②法人研修</td><td>参加人数</td></tr> <tr> <td>(A) 幹部研修</td><td>4 名</td></tr> </table>	①研修会	参加人数	(A) 園長研修 (年 12 回)	12 名	(B) 栄養士研修 (年 12 回)	5 名	(C) 道保協キャリアアップ研修	5 名	(D) 釧路保育協議会	14 名	(E) 私立保育園連合会	18 名	②法人研修	参加人数	(A) 幹部研修	4 名
①研修会	参加人数																
(A) 園長研修 (年 12 回)	12 名																
(B) 栄養士研修 (年 12 回)	5 名																
(C) 道保協キャリアアップ研修	5 名																
(D) 釧路保育協議会	14 名																
(E) 私立保育園連合会	18 名																
②法人研修	参加人数																
(A) 幹部研修	4 名																

	(B) 専門研修 4 名 (C) 職員研修 4 名 ③施設内研修 参加人数 (A) 音楽リズム 10 名 (B) 各マニュアルについて 23 名 (C) 感染症・嘔吐処理 24 名 (D) 公開保育 16 名 (E) 救命救急について 22 名 (F) セルフチェックについて 16 名
3) 食育を通して望ましい食習慣やアレルギー対応食の安全と充実を図る	(1) アレルギー児専用の食器を揃え、献立・調理方法・配膳の仕方について会議などで見直しを行い、食の安全に努めた。 (2) 子どもたちが意欲を持って食事がとれるよう季節の食事を取り入れ、アレルギー児の代替食、野菜の栽培、クッキング等に取り組んできた。また、月 1 回栄養士と保育教諭による食育指導を行い『食を営む力』の基礎を伝えた。 (3) 毎月 1 回給食だよりと給食献立表を配布。また、年に 1 度食育アンケートを実施し意見を取り入れ、保護者の意向を組み取り反映することで食育の充実を図った。
4) 子育て支援の充実を図る	(1) 毎週水曜日に行っている園開放は、園内外の遊び場を開放したり、園内の見学などを行った。 (2) 担当職員を配置することで、利用する方も安心して子育ての悩みや不安などを相談できるよう、配慮した。
5) あいこう認定こども園改築工事の竣工に向け準備を進める	(1) 完成に向けて実施設計を基に設計業者とともに協議を行い工事内容の変更や修正を図っていた。 (2) 新園舎で使用する物品等の選定を行った。
6) 感染症の流行や自然災害に備え、事業継続計画 (BCP) を作成する	(1) 事業継続計画 (BPC) を作成、都度見直しを図っていく。

2. 行事計画の実施状況

月	実 施 状 況 お よ び 参 加 人 数					
4	1) 入園・進級式	1 日	95 名			
5	1) 内科検診	10・16・28 日				105 名
6	1) 歯科検診	4 日	86 名	2) 清掃デー	5 日	52 名
	3) 親子バス遠足	26 日	60 名			
7	1) 交通安全教室	1 日	54 名	2) 清掃デー	5 日	56 名
	3) 長生園レク	30 日	21 名			
8	1) 津波想定避難訓練	21 日	92 名	2) 清掃デー	8 日	52 名
9	1) 清掃デー	5 日	57 名			
10	1) 清掃デー	7 日	63 名	2) 交通安全教室	9 日	82 名
	3) 運動会	12 日	84 名			
	5) 消防合同避難訓練	21 日	99 名	4) 歩き遠足 (室内レク)	16 日	57 名
11	1) 清掃デー	8 日	61 名			
	2) 内科健診	3・22・25 日				106 名
12	1) 清掃デー	5 日	61 名	2) お遊戯会	7 日	83 名
	3) クリスマス会	25 日	89 名			
1	1) 新年おもちつき お楽しみ会	10 日	95 名			
2	1) 保育参加日			2) 節分	3 日	99 名
	1才児	7 日	16 名	3) お店屋さん ごっこ	13 日	109 名
	0才児	14 日	11 名			
	5才児	21 日		4) 大友剛さん コンサート	18 日	81 名
3	1) ひなまつり	3 日	81 名	2) お別れ会	12 日	82 名
	3) 卒園式	14 日	22 名	4) 修了式	28 日	103 名

3. 施設整備等補助事業

1) 釧路市補助事業

事業名：令和6年度釧路市法人立保育所等施設整備費補助事業
内 容：あいこう認定こども園老朽改築費用
経 費：設備整備等による収入（補助金）
229,033,000 円

4. 保育事業

1) 北海道補助事業

事業名：保育所等に係る給食原材料費等支援事業	
内 容：給食材料費補助	
経 費：事業活動による収入（補助金）	200,000 円

令和6年度 入 退 園 状 況 (名)

定員 100

(1号認定 10)

(2・3号認定 90)

月	入園数	退園数 (内卒園児)	当月末人数 (内1号認定)
4	24	24 (22)	104 (3)
5	1	0	105 (3)
6	0	0	105 (3)
7	0	0	105 (3)
8	1	0	106 (4)
9	0	0	106 (4)
10	5	0	111 (4)
11	0	0	111 (5)
12	0	0	111 (5)
1	0	0	111 (5)
2	0	0	111 (5)
3	0	0	111 (5)
計	31	24	